

個別課題: 抗がん剤治療中の副作用(消化器症状)のコントロール依頼数
(平成30年7月1日～12月末日)

| 施設名: | Plan (計画) | Do (実行) | Check (評価) | Act (改善) |
|-----------|--|--|--|---|
| 56 大阪警察病院 | 目標: 50件 ①抗がん剤治療を受けている患者ののべ人数調査(入院) ②がん患者症状スクリーニングによる抗がん剤治療に関連した消化器症状出現人数の把握 ③リンクナースによる症状の継続的観察と緩和ケアチーム依頼の検討 ④依頼のあった症例に対し、がん化学療法認定看護師と情報共有し介入 | 7月～12月: 毎月ごとの抗がん剤治療患者の延べ人数調査の実施、消化器症状出現人数の把握 ②症状ありと判断された患者のリンクナースへ及び各種CNへの伝達と観察の継続及び緩和ケアチーム介入の検討を実施(記録にのこす) | 緩和ケアチームへの消化器症状コントロール依頼件数は、82件であった。 主治医及び緩和ケアチームリンクナース及びがん化学療法認定看護師2名とも情報共有を実施し、継続的観察と症状コントロールの実施を行った。 | 入院中のみ調査を行っているため、今後外来通院中の患者及び、内服薬単独治療を実施している患者の症状コントロールを含めていないことに課題が残る。 今後は外来通院中に症状コントロールを実施し、副作用による入院を可能な限り減少できるようシステム作りを実施していく。 |